

徳之島報 とくノシマ

2010
4月号
No.432

編集・発行 徳之島町役場 企画課 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203
TEL (0997) 82-1111 (代) FAX (0997) 82-1101
ホームページアドレス <http://www.tokunoshima-town.org/>



3月15日から20日まで子ども能楽教室が開催されました

今月の俳句 (町島口俳句大会入選作品より)

むちひろい ふうくうかたてい
な うあびにい

「餅拾いは、みんな袋を一方の手に持って
上を見上げている。」

(特選：神之嶺小 穂田湧水)

今月の主な内容

平成22年度予算	P 2~P 3
まちの話題	P 4~P 5
副町長のあいさつ	P 6
お知らせ	P 7~P 9
教育委員会だより	P 10
議会だより	P 11~P 21
戸籍の窓	P 22

一般会計 62億8,740万0千円

特別会計 40億1,826万8千円

でスタート

(単位：千円)

歳入	地方交付税	3,100,000 (49.3)
	町税	871,702 (13.8)
	国庫支出金	785,555 (12.5)
	町債	664,600 (10.6)
	県支出金	383,253 (6.1)
	使用料及び手数料	118,899 (1.9)
	地方消費税	111,000 (1.8)
	地方譲与税	76,001 (1.2)
	分担金及び負担金	67,481 (1.1)
	繰入金	6,452 (0.1)
諸収入・その他	102,457 (1.6)	

平成22年度の当初予算が3月定例議会で可決、成立しました。
 本年度の主な予算は、①子ども手当 ②徳之島加工センター建設事業
 ③亀津蔵越線改良事業舗装事業などを計上しています。
 予算額は、21年度当初より12・4%増の62億8、740万0千円とな
 っています。

自主財源と依存財源の割合

単位：千円
 ()：%



町民1人が負担する

町税……73,203円

平成22年4月1日現在の

人口……11,908人

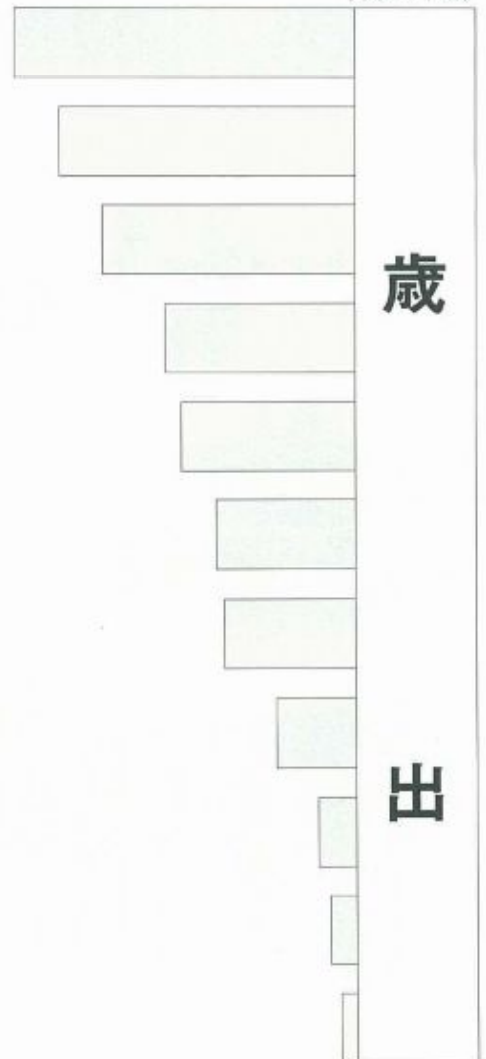
平成22年度

予 算

(単位：千円)

町 民 一 人 当 た り に 使 わ れ る 額	公 債 費	104,202円
	民 生 費	96,619円
	農林水産業費	87,085円
	衛 生 費	66,094円
	総 務 費	60,371円
	教 育 費	41,132円
	土 木 費	41,553円
	消 防 費	17,996円
	議 会 費	7,261円
商 工 費	5,154円	
そ の 他	526円	
総 額		527,993円

公 債 費	1,240,848 (19.7)
民 生 費	1,150,543 (18.3)
農林水産業費	1,037,014 (16.5)
衛 生 費	787,051 (12.5)
総 務 費	718,899 (11.4)
土 木 費	494,823 (7.9)
教 育 費	489,809 (7.8)
消 防 費	214,298 (3.4)
議 会 費	86,470 (1.4)
商 工 費	61,375 (1.0)
そ の 他	6,270 (0.1)



特 別 会 計	国民健康保険特別会計	1,640,600
	介護保険事業特別会計	1,096,226
	公共下水道事業特別会計	476,066
	特別養護老人ホーム徳寿園特別会計	314,276
	上水道事業会計	269,914
	後期高齢者医療特別会計	110,355
	老人保健事業特別会計	1,028
	簡易水道事業特別会計	80,850
	農業集落排水事業特別会計	22,617
	地域包括支援センター事業特別会計	6,336
	合 計	4,018,268

単位：千円



花いっぱい運動の成果

平成21年度地域美化・環境保全活動の表彰式が3月18日、池間生活館で行われました。

大島地区の地域美化・環境保全活動で最優秀賞を受賞したのは、池間フラワーグループの皆さん。県道沿いの植栽帯で植木の剪定や花木の植え付け、雑草除去など長年にわたる美化活動が評価されての表彰となりました。式では、元山義和大島支庁長から賞状と記念の盾とパネルが贈られました。

赤崎代表は、「受賞は歴代会員の賜物。これからも積極的な美化活動を行っていききたい」と語っていました。



池間フラワーグループの皆さん

さわやかな汗を流す

自衛隊殉戦者慰霊祭の前に、徳之島隊友会と自衛隊保護者会のメンバー約30人が3月14日、墜落現場の天城岳連山山頂の鎮魂碑周辺及び登山道のボランティア清掃を行いました。

また、3月20日には、徳之島青年会議所とライオンズクラブ、地元住民ら約30人が慰霊碑のある山公民館広場をボランティア清掃しました。

ボランティア清掃に参加されたみなさんお疲れ様でした。



↑徳之島隊友会
のみなさん

徳之島青年会議所のみなさん↓



日本の伝統芸能に触れる こども能楽教室

3月15日から20日までの6日間、徳之島町生涯学習センターで「こども能楽教室」が開催されました。

徳之島町の主催で開催された教室は、一昨年、昨年に引き続き講師にシテ方能楽師のNPO法人せんす会長橋岡佐喜男氏を迎えて行われました。

亀津小学校と亀徳小学校の4年生から6年生の児童12人（男子4人、女子8人）が、5日間にわたり、能の歴史を学び、着物の着付けやたたみ方、謡（うた）やすり足、扇子の動きなど舞の基礎を学びました。

最終日となった20日には、町生涯学習センターで発表会が行われ、2グループに分かれて、堂々とした態度で「高砂」の一部を披露しました。

橋岡先生は「短い期間でよく覚えてくれた。履歴書にも書ける一芸を取得したと誇りに思っています」となど好評を述べました。

最後は、橋岡先生から頑張った子どもたちへのプレゼントとして能の舞台で使う和紙製の蜘蛛の糸が贈られ、それを空高く撒き散らして、発表会は終了となりました。



堂々とした態度で「高砂」を披露（写真上）
蜘蛛の糸を放つと観客からは歓声があがりました（写真下）



自衛隊殉職者4回忌慰霊祭

平成19年3月30日に、急患搬送中に天城岳山頂付近に墜落し、自衛隊第1混成団第101飛行隊員4名の殉職者を出した事故の4回忌慰霊祭が3月29日、山公民館広場で行われました。

慰霊祭には遺族をはじめ、自衛隊・地元関係者ら約150人が参列しました。

式では離島の救急医療のために殉職した隊員の冥福を祈り黙とうを捧げたのち、碑文の朗読、4人の功績をたたえた鎮魂歌の朗読に続き、徳之島高校音楽部により、鎮魂歌と千の風になって、命の歌

の合唱が披露されました。

続いて高岡町長が、「悲惨な事故を二度々繰り返さないためにも、離島医療体制の改善へ向けて努力を重ねていきます」と慰霊の詞を述べ、陸上自衛隊西部方面総監代理岸川公彦幕僚副長も「4人の隊員の功績を受け継いでいきたい」と述べました。

参列者で献花を行い、最後に遺族代表の坂口恵子さんが遺族の近況を交えながら「慰霊祭に関わる皆さんに感謝します」あいさつしました。



参列者で献花を行いました

鹿児島へ1日4便就航

3月31日に運行を終えた日本航空のジェット便に変わり、日本エアコミューター（JAC）によるプロペラ機の運航が開始した4月1日、徳之島空港で就航セレモニーが行われました。

セレモニーには、徳之島観光連盟や3町行政関係者、利用客らが出席して、1日4便となり利便性の高まったJAC便の就航を祝いました。

また、就航記念として、徳之島観光連盟から同日の利用客に黒砂糖と味噌豆、ミネラルウォーターと観光パンフレットがセットになった詰め合わせが贈られました。



特産品が手渡されました

今日から小学生

4月6日、町内の各小中学校で一斉に入学式が行われました。

花徳小学校の今年度の入学生は男子7人、女子4人の計11人。入学式では、新1年生たちが名前を呼ばれると元気よく返事をして、在校生や保護者に向かいお辞儀をしました。また、山崎浩平校長と「あいさつをしっかりする・元氣よく返事をする・早寝・早起きをする」と3つの約束をしました。

今年入学を迎えたのは、小学校141人、中学校155人、真新しい制服に身を包み、希望に胸を膨らませた新1年生が学校生活のスタートを切りました。



一人ひとりに教科書が手渡されました

副町長あいさつ - 徳之島町のみなさん、よろしくお願ひします! -



こが とおる
古賀 徹 副町長

～副長町略歴～

昭和40年 福岡生まれ44歳。昭和63年 九州大学農学部農業工学科卒。昭和63年 農林水産省入省。数々の経歴を経て平成21年 中国四国農政局整備部水利整備課長。平成22年 農林水産省からの出向により徳之島町副町長となる。

はじめまして。このたび徳之島町副町長として参りました古賀です。出身は、福岡県小郡市と同じ九州ですが、徳之島に来たのは全くの初めてで、見るもの聞くもの全てが新鮮です。

徳之島に来る前は、岡山県にある中国四国農政局で、かんがい排水事業の実施・指導監督や、国営事業で整備した土地改良施設の管理を担当していました。農林水産省に入省して以来、いわゆる農業農村整備事業、土地改良事業に関する業務に携わってきました。

現在、徳之島町においては、高岡町長を先頭に農業・漁業の振興を基本とした経済基盤強化と、福祉の向上を図りながら、雇用の拡大に繋げる政策が実施されています。このなかで農業の振興、特に農業生産条件を改善して徳之島の気候風土を生かした新たな農業の展開と、地元で生産された農産物を活用した特産品の製造などによる新たな雇用の創出という高い目標の実現に向けて、副町長として取り組むこととなりました。微力ではありますが、全力を傾注し、私のこれまでの経験を生かして、この目標の実現に取り組み、徳之島町が持っているポテンシャルを少しでも引き出していければと思っています。

岡山を出発する際、最高気温が10度前後と寒いくらいでしたが、来る途中だんだんと温かくなっていくのを肌身で感じるとともに、わくわくしながら島に降り立ちました。副町長に就任したあと、沢山の方にご挨拶し、また島独特の行事にも参加させていただきましたが、私に対して大変期待していただいていることを肌で感じるとともに、どこでも暖かく迎え入れていただきました。このような風土にも触れ、改めて高岡町長が掲げる目標の実現と皆さんの期待に応えていきたいと思っています。みなさんよろしくお願ひします。

「子ども手当」が平成22年4月からはじまりました

～ 子ども手当は、児童手当に代わり、次世代の社会を担う子どもたちの健やかな育ちを社会全体で応ずる制度です。中学校卒業するまでの子ども1人につき、1万3千円（平成22年度）を受給できます ～

- * 手続きの必要がない方… 現在、児童手当を受給していて、中学2年生3年生の子どもがいない方。
- * 手続きが必要な方… 現在、中学2年生、3年生の子どもがいる方。
現在、所得制限等により児童手当を受給していない方。



- ※ 手続きが必要な家庭に対して4月中旬に役場保健福祉課より申請についての書類を送ります。
- ※ 養育している児童と別居している方に対しては、書類が正しく送付できない場合があります。該当すると思われる場合は、養育者のお住まいの市町村役場、又はお子様のお住まいの市町村役場にお問い合わせ下さい。
- ※ 公務員は職場での手続きとなります。

お詫び

子ども手当への支給に伴い振込手続きをお願いしてまいりましたが、町での振込への準備が6月支給に間に合いませんでした。6月支払いはこれまでの児童手当と同様に窓口での現金支給となります。

受給者におかれましては、混乱や迷惑をおかけしますことを深くお詫びいたします。振込については、10月支給より開始を予定しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】 徳之島町保健福祉課 子ども手当係 TEL 82-1111 (内線133)



春季行政相強調週間

役所仕事に対する苦情・要望・問い合わせなど、お気軽にご相談ください。

日時

平成22年5月20日(木)

場所・相談時間

・徳之島町役場監査室
9時～12時

・花徳支所
13時～16時

行政相談委員名

東郷 勇

☎ 83・3197

※役所の窓口サービス、公共輸送機関の乗り継ぎ、庁舎や道路の標識等行政サービスの向上についての意見・要望もお聞かせください。

相談は無料で、秘密は守

られます。

「平成22年全国戦没者追悼式」参列遺族の募集

全国戦没者追悼式に参列を希望される遺族の方を募集します。

とき

平成22年8月15日(日)

ところ

日本武道館

対象者

・戦没者の配偶者並びに三等親内の遺族(過去参列していない方を優先する)

・一般戦没者の配偶者並びに三等親以内の遺族(過去参列していない方を優先する)

申込期間

平成22年5月1日(金)

～平成22年5月31日(月)

申込先

役場住民生活課

問い合わせ先

県社会福祉課

☎ 099・286・283

役場住民生活課(内線121)
☎ 099・286・556

農政課からのお知らせ

農政課では現在、徳之島町徳和瀬に既設してあるパイプハウスの払下げ抽選会を予定しています。

希望される方は平成22年5月28日(金)までに役場農政課で申し込みを行ってください。

問合せ先

役場農政課

☎ 82・1111

事業主の皆さまへ

労働保険年度更新手続きのお知らせ
6月1日から7月12日は労働保険料の年度更新手続き期間です。

○労働保険(労災保険、雇用保険)年度更新手続きの

時期が昨年度から変更されました。6月初めに送付されます労働保険料申告書・納付書により平成21年度の労働保険確定保険料・一般拠出金と平成22年度労働保険が遺産保険料の申告・納付を期間中に行っていたいただきますようお願いいたします。

問合せ先

労働局労働保険徴収室適用係

☎ 099・223・827

GWは、マリンレジャー安全推進期間です

海上保安庁では、マリンレジャー活動が盛んとなる下記期間を安全推進期間として設け事故の未然防止に取り組んでおります。

海へお出かけの際は、「自己救命策確保3つ基本」をしっかりと守ってマリンレジャーを楽しみましょう!

●平成22年4月29日(木)～5月5日(水)

みんなで防ごう海の事故!

自己救命策確保3つの基本

- 救命胴衣の着脱練習
- 通信手段の確保
- 海のちしほは「118」番

問合せ先: 奄美海上保安部 警備教習課 0997-52-5811

平成22年度徳之島町新規採用職員あいさつ

徳之島町の保健センターの管理栄養士として配属になりました中山あすかです。

「風土とフードを見つめた地域保健サービス」を目標に、地域・家族・個人の食生活の「あるべき姿」を一緒に考え、できるだけ現実生活に結び付くような工夫をし、住民の一人ひとりのニーズにあった食生活を援助していきたいと考えております。

未熟な私ですが、少しでも皆様のお役にたてるように日々精進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。



保健センター
中山あすか

ポイ捨ては、絶対ダメ!

平成22年7月1日から

「徳之島町ポイ捨て及び飼養動物等のふん害防止に関する条例」

が施行されます



空き缶をはじめとするごみのポイ捨てや、飼い犬・牛等のふんの放置が後を絶たず、このことで困っている町民の方がたくさんいます。これまでもモラルや常識に訴えてきましたが、残念ながら改善されていません。

このようなことから町では、快適な生活環境を守るため、「徳之島町ポイ捨て及び飼養動物等のふん害の防止に関する条例」を制定し、**平成22年7月1日より実施します**。また、巡視員を配置して未然防止のパトロールも強化しています。

主な内容は次のようになっています。

1. 目的

人と環境にやさしいまちづくりを推進し、快適な生活環境を保持する。

2. 町民、事業者、町の役割

町民、事業者、町の役割は次のとおりで、それぞれ力を合わせて「快適で住みよいまちづくり」を目指します。

- ・町民は、屋外で自ら生じさせた空き缶等を持ち帰り、自らの責任において適正に処理します。
- ・事業者は、事業活動を行うにあたっては空き缶等のポイ捨て防止に努めます。
- ・町は、ポイ捨て防止のために必要な施策を実施します。

3. 飼養動物等のふん害の防止

飼い犬や牛等を屋外で運動させる場合に、公園、広場、道路など公共の場所でふんを排せつした時は適切に処理し放置してはならない。

4. 2万円以下の過料

正当な理由がなく、町の指導、勧告、命令に従わなかった場合は、2万円以下の過料に処せられることがあります。

◆自販機を設置している方へお願い◆

自販機の周辺に飲んだ後の空き缶やペットボトルの散乱が目立ちますので、自販機を設置している方は、適正に処理するようお願いいたします。



【問合せ先】徳之島町住民生活課 TEL 82-1111 (内線121)

平成22年度徳之島愛ランド広域連合一般会計予算

平成22年度徳之島愛ランド広域連合一般会計予算が3月広域連合定例議会で可決・成立しましたのでお知らせします。

歳 入 (単位:千円)		歳 出 (単位:千円)	
3町負担金	588,045	議会費	330
諸収入	41,542	総務費	11,854
火葬場使用料	9,335	衛生費	295,780
食肉センター使用料	4,731	公債費	335,689
計	643,653	計	643,653

地デジの準備はお済みでしょうか？ ～地デジ相談会・説明会のご案内～

これまでのテレビ（地上アナログ放送）が終了して地デジ（地上デジタル放送）に完全移行する2011年7月まであと1年あまりとなりました。もう、皆様のお宅は地デジの準備はお済みでしょうか。

- まだ、アナログ放送をご覧の皆様を対象に、
- ・お住まいの地域は地デジが映るのか？
 - ・地デジはどうしたら見られるのか？

などのご相談を受ける地デジ相談会及び地デジを体験できる説明会を次の日程で開催します。事前の申し込みは必要ありません。お気軽にご利用ください。



◇地デジ相談会と説明会の日程◇

	会 場	相談会（ロビー）	説明会（1階会議室）
6月1日（火）	徳之島町役場	午前10時～ 午後4時	午後2時～ 午後3時

【問い合わせ先】デジサポ鹿児島 ☎ 099-812-8001
徳之島町企画課 ☎ 82-1111（内線222）

公共下水道事業への加入（接続）のお願い

徳之島町浄化センター（処理場）と町役場周辺の一部建築物が4月1日より下水道へ接続できるようになりました。また、町役場から大瀬川周辺が供用開始区域に追加になり下水道に接続できます。

接続できる建築物は、宅地内に「公共ます」が設置してあります。各家庭の台所・風呂場・洗面所・トイレの排水を「公共ます」に流す排水設備の工事費は個人負担となります。

排水設備工事を行うときは、必ず徳之島町が指定した「指定工事店」へ申込み下さい。「指定工事店」では、町に提出する必要書類の作成、届け出などの手続きを皆さんに代わって行います。

*徳之島町下水道排水設備指定工事店一覧表

平成22年3月1日現在

指定工事店	住 所	電話番号	指定工事店	住 所	電話番号
(株)クワエ	井之川 2113-1	83-1672	(有)岸岡建設	亀津 2964-2	83-1385
富山工業	徳和瀬 2099	82-2277	(有)住建設	亀津 2883-1	82-2342
(有)前田水道工事店	亀津 7553	82-0308	(株)中央開発	亀津 7257	83-2544
明成工業	亀津 3162-1	83-2728	久志設備	亀津 7761	82-2124

- ・排水設備工事費が、どれくらい掛かるのか数社から見積を取ってみましょう。
- ・どこの指定工事店に見積を依頼するかは、個人の自由です。
- ・現在使用している浄化槽が合併槽か単独槽か、くみ取りトイレかで工事費が違います。
- ・工事が完了し使用が始まると、毎月下水道使用料が発生します。下水道使用料は、水道水を使用して汚水を排除する場合は、水道の意使用料で算出します。
- ・下水道使用料は、使用料の40㎡までは水道料金と同額です。

【下水道接続（加入）のお問い合わせは】

徳之島町 都市開発課 TEL 82-1111（内線251）

公用車売払について

車 種：三菱
型 式：U-BE437F改
乗車定員：25（19）人
初年登録月日：平成2年9月
車 検：無し
最低売払金額：30,000円
保管場所：徳之島町役場南駐車場
その他：一時登録抹消済、特殊車輛
※詳細は町ホームページをご覧ください。



【問い合わせ先】
徳之島町総務課 財産係
☎ 82-1111

教育委員会だより

いつでも御意見・御相談をお寄せください。

町民の皆様の中には「教育委員会」と聞かれると堅くて、親しみにくいイメージをもたれていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

実は教育委員会は、そのようなことばかりではありません。学校教育や社会教育に関する業務に携わっている機関ですので、学齢児童生徒の保護者の皆さまはもちろん、町の地域行事等に参加される町民の皆さまには身近な存在なのです。特に、「徳之島町教育委員会 学校教育課」は、徳之島町の教育相談所としての役割ももっています。町生涯学習センター1階（学校教育課）、2階（社会教育課）にあります。



子育てをする中では、様々な悩みや迷いが出てくることもあると思います。また、学校の様子で気になることもあるかと思いますが。

- ？子どもが学校に行きたくないと言いだめた。
- ？子どもが親に反抗することが多くなった。
- ？子どもの学校生活のことで悩んでいることがある。
- ？学校の指導や方針に気になることがある。

といったことをお気軽に御相談いただいても構いません。もちろん、身近な学校の担任や校長先生、教頭先生に聞いていただくのが一番かと思いますが、学校の先生方へ言いにくいことなどについては、徳之島町教育委員会へ遠慮無く御相談ください。相談者の確認なしに相談内容を学校に報告することはありませんし、子どもさんに不利益になるようなこともありません。教育委員会は子どもたちが楽しく、明るく学校生活を送ることを応援しています。なお、公正を保つためと、秘密も守りますので、原則として匿名でなくお名前をお聞かせいただけるようお願いしております。

学校への御意見や御相談がありましたら、いつでも徳之島町教育委員会へお寄せください。
(担当 学校教育課 川野浩明 TEL 82-1308 FAX 82-2413)

地域に根ざした特色ある教育活動をめざして

徳之島町立花徳小学校

花徳小学校は、児童数53名、5・6年複式学級を含む5学級編制の学校です。学校創立115年目を迎えました。毎日、校庭のシンボルツリー「昇竜（ガジュマル）」を見ながら、勉強や運動に励んでいます。

花徳小学校では、学校の特色を活かした活動の一つとして「ふるさと学習」に取り組んでいます。ふるさとの自然や文化に接することで、夢と希望を持って前向きに生きていくことができるようにとの願いを込めて活動を行っています。平成21年度は、次のような学習に取り組んできました。

1 三味線クラブの活動

島唄・島口、美ら島運動の一環として、花徳出身の治井秋喜・春代先生の指導のもと、「徳之島子守唄」「徳之島小唄」などに取り組んでいます。郷土芸能の伝承活動を通して、郷土の文化に触れ、子どもたちは地域の一員としての自覚を高めています。

2 島口による話や劇

これも、島唄・島口、美ら島運動の一環として、島口による話や劇などに取り組みました。

その中の「話ぐれえく」（＝話くらべ、話競争）は、子どもたちの島口に取り組んだものの一つです。録音した内容は「徳之島万華鏡」（花徳小学校の学校歯科医 中村正弘先生のホームページ）に出ていますので、ぜひ聞いてみてください。

3 桂楽珍さん講演会

平成21年度、徳之島出身の落語家 桂楽珍さんの講演会を行いました。桂楽珍さんは、徳之島出身の落語家で、吉本興業に所属し、大阪や東京を中心に、全国で活躍している方です。

講演では、子どもの頃の体験や徳之島高校の頃のお話、落語家を志そうとしたことなど、子どもたちの将来を考える意味で多くの示唆をもらいました。また、落語体験に続き、落語の実演では、プロの噺家のおもしろさ・巧みに、参加者全員が引き込まれていました。

平成22年度も、地域に根ざした特色ある教育活動を進めていきたいと思っています。



三味線クラブの様子

徳之島の偉人紹介～その18～

みねやま ときよし
嶺山 時善 (1863年亀津生まれ。1930年没)

明治時代の弁護士。徳之島から二人目、鹿児島師範を出て、大島、沖縄での教職から官界入り沖縄税務署長となった。

1902年施行の第7回総選挙に立候補し3票差で落選した。この選挙から有権者は、国税十円以上の納税者に選挙法が改正された。(それまでは十五円)大島郡の有権者は63人増加し、371人であった。

翌年の第8回総選挙では、165票で当選、続いて第9回総選挙でも131票で当選した。以後3回出馬したが落選してあきらめた。

嶺山代議士の所属は大同クラブ、鹿児島県出身の代議士はオール政友会の中で反政友会派として特異な存在であったが性格的には温和で自ら行動を起こすことはなかったとも記録されている。

代議士時代に東京在住の奄美出身青年学生に「大島郡青年会」の結成を勧め指導したと鶴野定一が証言「東京奄美会80年史」「東京奄美会100年の歩み」に記録されている。

交通網の整備では、5島を結ぶ定期航路の開設、鯉漁船建造で一隻、300円の国家補助をとり130隻の全盛時代を築いた。大島紬協同組合の結成、黒糖の大阪への出荷、義務教育も本土並みの6年制にした。

(参考文献『鹿児島先駆者の記録』)